

報 告

昭和五十年大会の概況 日本思想史学会の昭和五十年度大会は、十月二十五日(土)・二十六日(日)・二十七日(月)の三日間にわたり、岡山ノートルダム清心女子大学を会場として開催された。

第一日目は「日本思想史上の女性」と題して、次の二氏による主題講演が行なわれた。

源子物語の女性

奥村五百子・景山英子・与謝野晶子

共立女子大学教授

東北大学教授

小野村 洋子  
石 田 一 良

右の主題講演終了後、市内の桃園園において懇親会が催された。

大会第二日目は、総会ならびに研究発表が行なわれた。研究発表は次の各氏である。

- 1、日本思想の総括「矛盾の合理」  
東北大学大学院
- 2、七支刀の大義名分―上田正昭氏の反論に答える。  
東京教育大学大学院
- 3、靈異記仏教の論理  
カリフォルニア州立大学
- 4、慶滋保胤の念仏生活  
仏教大学助教授
- 5、浄土教の源泉―十世紀の中流貴族の文学と宗教  
中央大学大学院
- 6、法然の出家をめぐる  
仙台市立女子高等学校教諭
- 7、日本宗教史を貫く恩の思想  
山口県教育庁
- 8、道元の叢林教育について  
岡山就実短期大学助教授
- 9、辻文哉 試論  
学習院大学大学院
- 10、瀟湘八景図と東山文化  
小 島 康 敬
- 11、太宰春 台考  
影 山 純 夫  
加 藤 健 一  
新 藤 保 祐 史  
平 保 祐 史  
P・ウエツラー  
渡 部 直 比 古  
八 重 榎 直 比 古  
古 田 武 彦  
田 中 治

- |     |                    |          |      |
|-----|--------------------|----------|------|
| 12、 | 幕末大名意識論序説          | 九州大学教授   | 山口宗之 |
| 13、 | 美甘政和の「天地組織之原理」について | 津山高等学校教諭 | 福田篤二 |
| 14、 | 明治二十年代の植村正久の思想について | 東北大学助手   | 田代和久 |
| 15、 | 「民友社」の成立           | 同志社大学教授  | 杉井六郎 |
| 16、 | 超国家主義の思想           | 防衛大学助教授  | 春日佑芳 |
| 17、 | 小栗了雲事蹟考            | 関西大学教授   | 柴田実  |

右の研究発表終了後、総会が開かれた。事務局より昭和四十九年度事業報告ならびに決算報告がなされ、五十年年度予算案・事業計画案が提案された。審議の結果これらを承認した。

大会第三日目は、吉備方面の見学旅行が行なわれ、秋晴れのなか、閑谷学校・吉備津神社等を見学した。参加者は五十余名であった。